

帰国生受け入れ開始に続き、「グローバル教育部」を新設！

いまの時代の「新しい紳士」を育成

海城中学校・高等学校

東京都新宿区



「二二」年の歴史を刻む進学校が推し進める改革
「新しい人間力」と「新しい学力」を育てます

本校は、創立一〇〇周年を迎えた翌年の一九九二年を「改革元年」と位置付け、教育改革をスタート。現在は、「国家・社会に有為な人材を育成する」という建学の精神に立ち戻るとともに、いまの時代に適応できるリベラルでフェアな精神を持った「新しい紳士」育成の改革を推し進めています。本校の考える「時代が求める有為な人材」とは、「人間力と学力のバランスがとれた人間」です。しかも、それらは新しい時代が要請する「新しい人間力」と「新しい学力」を含み持つものでなくてはなりません。

●体験学習ⅡPA(プロジェクトアドベンチャー)

中学一・二年度に、課題を含んだアクティビティに挑みます。たとえば、丸太の上にランダムに乗った生徒たちが互いに言葉を発せずに生年月日順に並び直すといった課題では、コミュニケーション能力やコラボレーションの力を向上させていきます。また、自己の選択・意思に基づいて挑戦

新しい人間力を育むため アメリカ発の体験学習も

現代は、人やモノ、資本、情報が国境を越えて行き交うグローバルな社会であり、多様な価値観が介在する社会です。そうした社会の中で生きていくには、高い英語力を持った生徒を対象に、英語ネイティブの教員による放課後の特別講習を実施するほか、日本語の補習など教科支援を拡充させます。

●高レベルでの海外交流

単なる異文化交流にとどまらず、高レベルでの海外交流を推進。海外大学の学生との共同作業、外資系企業などでのインターンシップ、長期留学制度の確立などを検討しています。

③海外大学への進学支援

TOEFL[®]やSAT[®]の対策講座、入学や奨学金のための書類作成・手配の指導・補助など、海外大学進学も積極的に支援していきます。

④ぶ厚いリベラルアーツ

ここぞというときに、ぶれることのない真のグローバルリーダーを養成するべく、世界で高い評価を得るIBのカリキュラムも参照・研究しつつ、教養教育を充実させ、哲学的な思考力や社会的なフエアネスの精神を涵養します。

する、高所で恐怖感を伴う課題では、必ず仲間が命綱を握って支えます。それにより、人間が勇気を持つて何かに挑戦するときは、信頼に裏打ちされた仲間のサポートが大切だということを学びます。

●体験学習ⅡDE(ドラマエデュケーション)

二つ目の体験学習では、たとえば、班ごとに小説から選んだ五場面をストップモーションで演じ、カメラで撮って批評し合うことにより、登場人物の内面や人同士の距離感、視線の意味などを身をもって感じ取ります。こうした取り組みは、文部科学省の「児童生徒のコミュニケーション育成に資する芸術表現体験事業」に採択されています。

新しい学力「Critical Thinking」力を育成

複雑化した現代社会では、難解な諸問題を解決する能力がいままで以上に求められます。そのため、従

来の記憶暗記型の学力だけではなく、自ら課題を設定し、調査・熟考し、価値を判断し、分かりやすく伝えるといった「Critical Thinking」の力を育成することが必要なのです。

●各所で高い評価を得る「社会科総合学習」

中一から中三まで、週二時間の「社会科総合学習」の間では、レポートのテーマを自ら設定し、文献を調べ、企業などへ取材し、執筆し、発表します。中三の卒論は、日本経済新聞など多くのメディアで取り上げられるほどの出来栄です。

●第一線で活躍する先輩による「キャリア教育」

将来を見据える力や学習意欲の向上を図るため、「プロフェッショナル」といったようなテーマで講演を開催しています。講演者は、財務官僚や企業経営者、大学院の理系の博士課程で学

ぶ者など、社会の第一線で活躍する方や、研究の最前線で学ぶ卒業生たちです。

「帰国生入試開始」に続き「グローバル教育部」開設 これまでに述べた「共生教育」を一層推し進め、世界で活躍するグローバル人材の育成を図るため、昨年度から中学での「帰国生受け入れ」を開始した本校ですが、国際化がますます進む現代において、歩みを止めることはありません。今年度は、既存の「帰国生支援室」を取り込むかたちで「グローバル教育部」を開設。海外での貴重な生活・学習体験を持った世界各国からの帰国生の力を最大限に保持・伸長できる体制を整えていきます。先進国と位置付けられる日本における進学校として、インターナショナルスクールでもなく、IB認定校でもない「第三の道」を進みながら、グローバルな人材を育成すること。それが、本校の思い描く未来です。

●「グローバル教育部」における主な取り組み

- ① 語学力の保持・伸長

海城 中学校・高等学校 男子校 中編 中転

帰国生入試 生徒募集要項	12年度 大学合格実績
募集人員 男子30名	()は現役
出願期間 平成24年12月1日(土)～平成25年1月5日(土) 取扱時間:日曜・祝日を除く、午前9時から午後4時まで。ただし、年末年始の休業日(12月28日(金)～1月4日(金))を除く。郵送は12月22日(土)必着。	国公立大学 48(35)
出願手続 入学願書・受験料振込票・受験票・面接カード 海外生活証明書(保護者の所属する機関の長の証明、またはこれに代わるもの)	東京大学 12(5)
試験日 平成25年1月7日(月)	東京工業大学 13(11)
科目 Aコース/算数・国語・社会・理科 面接(10分程度・受験生のみ) Bコース/算数・総合 面接(10分程度・受験生のみ) ※Aコース・Bコースどちらか選択。算数はA、Bコース共通問題 ※面接時に「生活していた国や地域と日本との違い」について2分程度のスピーチあり	一橋大学 15(7)
帰国生入試説明会 夏・秋に開催予定 ※詳細は、本校HPを御覧ください ※ご参加には、事前に電話03-3209-5880でのご予約が必要です	国立医学部 27(18)
	私立大学 早稲田大学 218(121)
	※国立医学部には東大理Ⅲ 4、京大医1を含む。 ※上記は、3月23日現在判明分からの抜粋。